


# 日向市ふるさと寄附金 平成23年度実績

平成23年度は、16名の方々から、930,000円の寄附をいただきました。皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。



ここでは、日向市が平成23年度に実施した主な事業を、5つの政策分野毎にご紹介します。皆さま方からいただいた寄附金は、これらの事業の財源の一部として活用させていただきました。


## “人”の分野 ～未来を拓く人が育つまちづくり～

事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)
<p><b>「若山牧水」顕彰事業</b></p> <p>現在の日向市東郷町坪谷で生まれ、43年という短い生涯の中で日本の短歌史に偉大な功績を残し、今もなお人々の心を魅了している国民的歌人「若山牧水」。人と自然と酒をこよなく愛し、純粋な心で歌を詠み、約9000首の短歌を遺しています。</p> <p>彼の業績を後世に伝え、子どもたちの心の醸成、地域の文化振興に寄与するため、毎年、牧水の命日である9月17日に「牧水祭」を、12月下旬に「牧水かるた大会」を開催しています。また、平成23年度は市制施行60周年を記念して「第1回青の国若山牧水短歌大会」や「第1回牧水・短歌甲子園」を開催しました。今後も、牧水を偲ぶとともに、彼の功績の素晴らしさを地域のみならず、全国に発信していきます。</p>	 <p>牧水・短歌甲子園</p>	3,101
<p><b>市立図書館リニューアル事業</b></p> <p>市立図書館のリニューアル工事により、年々増加する書籍の収納スペースの確保を図るとともに、キッズコーナーの新設や、市民の皆さんがより利用しやすいよう館内レイアウトの変更を行いました。</p> <p>『どんぐり広場』と名付けられた新設のキッズコーナーには、親子で靴を脱いでゆっくり絵本を楽しめる専用スペースを用意し、仕掛け絵本や紙芝居などを自由に楽しめるようになりました。また、授乳やおむつ替えのできるスペースも設け、NPO法人「みやざき子ども文化センター」の紹介する「赤ちゃんの駅」にも登録されました。</p> <p>今後も、子どもから大人まで、多くの市民の皆さんの、情報の拠点、生涯学習の場としての、更なる図書館の充実に努めていきます。</p>	 <p>どんぐり広場</p>	20,215

<b>ひゅうがっ子学力向上推進事業</b>	 <p>ひゅうがっ子</p>	6,350
<p>将来の日向を担う児童・生徒の学力向上のために、中学校数学の授業サポーターとしての非常勤講師の配置や市内企業の外部講師による出前授業の実施をし、確かな学力の定着を図りました。また、指導する側の資質向上のために、理数系担当教員研修会を実施しました。</p> <p>今後も、多様化するニーズに的確に対応し、創造性豊かでたくましい人を育てる教育基盤づくりを推進していきます。</p>		

**“くらし”の分野 ～健康で安心してらせるまちづくり～**

事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)
<b>障がい者センター事業</b> <p>平成 23 年 4 月、JR日向市駅西口そばに「日向市障がい者センター『あいとぴあ』」が整備され、NPO 法人 日向市障害者団体連絡協議会が管理・運営を行っています。</p> <p>本施設は、難聴者用磁気ループシステムや磁気センサー型音声誘導標識システムなどが設置され、障がいの有無にかかわらず、各種団体・グループ、サークルなど誰もが気軽に利用することができます。</p> <p>今後も、この「あいとぴあ」が地域に密着し、障がい者の新たな活動の拠点になるように、福祉に関する情報提供や自主活動の場の提供を行っていきます。</p>	 <p>開所祝いでの「風舎チンドンWAY」</p>	15,624
<b>高機能消防指令システム総合整備事業</b> <p>日向市消防本部では、老朽化した指令システムを更新し、新たに高機能消防指令システムを導入しました。この新システムは、発信地表示システムなど最新式の技術や機能を備えたもので、119 番通報から現場到着するまでの時間短縮など初動体制の迅速化が図られました。また、各種災害に迅速かつ的確に対応できる消防体制を構築することができました。</p> <p>今後も、市民の安全・安心なくらしの実現を図るため、消防防災体制の充実に努めていきます。</p>	 <p>高機能消防指令センター</p>	205,615

<p><b>乳児家庭全戸訪問事業「こんにちは赤ちゃん事業」</b></p> <p>赤ちゃんの健やかな成長、楽しい育児を応援するため、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、「お誕生、おめでとう。」という気持ちと共に、子育てに役立つ情報をお届けする「こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)」を始めました。</p> <p>子育ては、「嬉しい、楽しい」だけではなく、不安や悩みはつきものです。お母さんがこれから子育てをするなかで、1人で不安を抱え込まないよう赤ちゃん訪問員が訪問し、子育ての不安や悩みを聞き、子育てに関する情報提供を行い、支援が必要な場合には、適切なサービスにつなぎます。</p>	 <p>『こんにちは、赤ちゃん』</p>	1,450
<p><b>在宅高齢者支援事業</b></p> <p>高齢者が、地域で安心して生活できるように、緊急通報システムの貸与や、配食サービス、寝具類洗濯乾燥サービスなどの在宅サービスの支援を行なっています。</p> <p>各種サービスを利用することで、高齢者世帯の安否確認を行えるという利点があるとともに、交流促進による孤独感の解消、更には、生きがいつくりにつながるような趣味活動への支援により、高齢化社会の課題解決に向けた取組を行っています。</p>		42,802
<p><b>子宮頸がん等ワクチン接種促進事業</b></p> <p>乳幼児がかかると非常に重く、生命にも危険が及ぶ症状になるような病気と、子宮頸がんの予防対策として、子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザb型)ワクチン及び、小児用肺炎球菌ワクチンの接種が平成23年2月1日から無料で受けられるようになりました。</p> <p>今後も、個人負担の軽減を図ることで、予防接種の受けやすい環境を整備し、市民の皆さんの健康増進に努めていきます。</p>		79,489

“産業”の分野 ～元気で活力ある産業が育つまちづくり～		
事業名と事業の概要	事業の様様	決算額 (単位:千円)

<p><b>『細島港を核としたグランドデザイン』の策定</b></p> <p>重点港湾に選定された「細島港」における大水深岸壁やガントリークレーンなどの整備、平成25年度に予定されている東九州自動車道の延岡－宮崎間の開通など、日向市では、物流関連の社会基盤の整備が着々と進められています。このような絶好の機会を日向市はもとより周辺地域の産業経済の成長の糧ととらえ、「国際都市日向10万人構想～最先端・頭脳集積型産業の拠点を目指して～」というキャッチフレーズのもと、中長期的な計画『細島港を核としたグランドデザイン』を策定しました。</p> <p>今後は、このグランドデザインに基づき、最先端・頭脳集積型産業の拠点地域としての2次産業の振興を図るだけでなく、それらを1次産業、3次産業の発展にも繋げることで、雇用の拡大、地場産業の振興を図り、日向市のみならず、宮崎県の姿を大きく変える起爆剤として、更なる飛躍に向けて取り組んでいきます。</p>	 <p>『細島港を核としたグランドデザイン』</p>	618
<p><b>森林整備地域活動支援事業</b></p> <p>国土の保全、水源のかん養、地球温暖化防止など、森林が有する多面的機能が十分に発揮されるよう、計画的かつ適切な森林整備を推進するため、県と市が緊密な連携のもと、作業路網の改良活動を支援しています。</p>	 <p>森林整備地域活動</p>	36,730
<p><b>特定畜産伝染病防疫対策事業</b></p> <p>口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザにより被害を受けた畜産農家を支援するため、防疫体制の整備や子牛・成牛の導入、施設整備等に係る経費などの助成を実施しました。畜産業や地域経済の復興の足がかりになるよう、継続的な助成を行っています。</p>	 <p>子牛の品評会</p>	49,595

**“環境”の分野 ～自然と共生した快適な環境のまちづくり～**

事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)
-----------	-------	----------------

<p><b>資源回収事業</b></p> <p>平成 23 年 3 月から、資源物の月 2 回の回収を開始しました。また、綿 100% の制限をなくした古布や、色つきペットボトルの回収開始などにより、資源化率の向上が図られました。</p> <p>特に、プラスチック製容器包装については、重量比で 10%、体積比で 40% の回収リサイクルが進むなど、更なるごみ減量化が図られました。また、熱カロリーの高いプラスチック類が減ることで、燃やせるごみの減量化が進み、清掃センター焼却炉に対する負荷の軽減にも寄与しています。</p>	 <p>資源物集積所</p>	<p>242,428</p>
<p><b>下水道未普及解消事業</b></p> <p>平成 23 年度は、財光寺比良町地区の下水道整備を行いました。</p> <p>平成 23 年度末現在、日向市の下水道普及率(全体人口のうち、どのくらいの人が下水道を使えるようになったかを示す割合)は約 53% です。</p> <p>今後も、「日向市公共下水道事業全体計画」に基づき、普及率・接続率の向上に努め、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図っていきます。</p>	 <p>財光寺比良町地区</p>	<p>149,410</p>
<p><b>簡易水道施設統合整備事業</b></p> <p>「森林を潤し黒潮を育む日向の水」をキャッチフレーズに、効率的かつ効果的な事業の統合による経営基盤の強化を図り、安全で安定した水の供給に努めます。</p> <p>平成 23 年度～平成 24 年度で、田の原地区簡易水道を日向市上水道に統合するための施設整備を行い、施設の運営や水質管理の一元化を図ります。</p> <p>今後も、安全でおいしい水道水を安定的に供給していくために、水道事業の経営基盤の強化を図っていきます。</p>	 <p>田の原 配水地</p>	<p>141,355</p>

### 細島東部地区住環境整備事業

細島東部地区は、高台に住宅が密集し、生活道が狭く、火災や急病などの緊急時に、車両が進入できないといった日常生活や防災上の不便を抱えた地区で、これらの課題を改善すべく、平成5年度に本事業に着手し、平成23年3月に竣工を迎えました。

高台にある2,020mの避難路としての役割も高い市道の新設、地形を利用した3か所の公園の整備、34戸のコミュニティ住宅の建設、集会所や耐震防火水槽などの公共施設の整備を行うことで、狭隘な斜面地における住環境の改善、防災機能の向上、土地利用の促進などが図られ、住民の悲願であった安心・安全な快適な潤いのある住環境を整えることができました。

特に、土地の高低差や急峻な地形を考慮し、地区内の安全安心な歩行空間を確保するためコミュニティ住宅内に、市道としてエレベーターを設置したことは、全国でも珍しい事例として評価され、「全建宮崎賞」を受賞しました。

今後は、若年世代の定着化と地域の活性化を図り、「歴史に潮風が香るやすらぎの港町細島」として、地域づくりを推進していきます。



細島東部地区

10,189

## “交流”の分野 ～活発な交流により豊かさが享受できるまちづくり～

事業名と事業の概要

事業の様相

決算額  
(単位:千円)

### 日向市市民まちづくり支援事業

市民主体による元気で活力ある「協働のまちづくり」を推進するために、市民活動団体が自由な発想で自らが主体となって行う企画提案事業を募集し、市民の代表と行政で組織する審査会の公平な審査を経て事業を採択・実施するという、提案公募型の「日向市市民まちづくり支援事業」を実施しています。平成23年度は、当事業の補助を受け12事業を実施しました。

市民のみなさんが知恵を出し合い、地域の特色を生かした事業を自ら企画・運営・実施することを通じて、人の輪・地域の和を育み、より豊かな地域コミュニティが創造されることを期待しています。



財光寺農業小学校

7,673

<p><b>自治体クラウド</b></p> <p>平成 24 年 1 月 16 日、自治体の情報システムをデータセンターに集約し、ネットワークを通して複数の市町村がシステムを共同利用する「自治体クラウド」を県内9市で初めて稼働しました。これにより、交付される住民票、印鑑登録証明書などは、A4サイズになりました。</p> <p>今後、経費の削減や情報セキュリティの強化など、さまざまな効果が期待されています。</p> <p>また、データセンターは、大規模災害にも対応できる設備を有しており、大事な住民データを守ることができることも画期的な保守管理システムであると言われています。</p>	 <p>自治体クラウド</p>	<p>31,462</p>
<p><b>巨石シンポジウム</b></p> <p>日向市一帯には正体不明の巨石群が所在しており、中にはエジプトのピラミッドに似た形のものや、中・近世の修験道や龍神信仰との結びつきを想像させられるものもあり、地域における謎となっています。</p> <p>美々津における石神山(いしがみやま)、大御神社、立磐(たていわ)神社、大御(おおみ)神社、米ノ山(こめのやま)など巨石群がパワースポットが注目され、地域の文化意識の向上、観光面での集客力アップに期待されています。</p> <p>さらに巨石群の謎を探ることにより、地域の文化意識の向上と観光面での集客力アップを図るために「日向の巨石シンポジウム」を開催し、「日向の巨石巡り」のミニツアーを開催したところ、全国各地から、巨石愛好家が集いました。</p> <p>今後、古事記・日本書紀編さん 1300 年事業も展開されることから、観光振興の面などでも効果が期待されています。</p>	 <p>田の原「石神山」巨石巡り</p>	<p>458</p>

<p><b>“市長におまかせ”の分野</b></p>		
<p>事業名と事業の概要</p>	<p>事業の様様</p>	<p>決算額 (単位: 千円)</p>

<p><b>日向市制施行 60 周年記念式典</b></p> <p>平成 23 年は、日向市が誕生して 60 年という節目の年に当たり、11 月 5 日には、「市制施行 60 周年記念式典」が開催されました。</p> <p>新たに制定した「日向市民憲章」の紹介、市制 60 周年を契機に創設された「青の国大賞」や本市の観光大使としてご活躍いただいている萩本欽一さんの特別表彰などの各種表彰、日向市の特産である「へべす」の魅力を広く紹介し知名度向上や消費拡大を図ることを目的に新たに設置した「日向のへべす大使」の任命式などが行われました。</p> <p>式典の結びには、次世代を担う子ども達から日向市の明るい未来を切り開いていくという力強い「未来宣言」がありました。</p> <p>その他、山田洋次監督の記念名作上映会、2011 年囲碁サミット、元プロ野球選手によるドリーム・ベースボール大会など、様々な催しが開催されました。</p>	 <p>日向市制施行 60 周年記念式典</p>	
<p><b>『新しい日向市総合計画・後期基本計画』の策定</b></p> <p>平成 19 年 3 月に策定した「新しい日向市総合計画」の前期基本計画が終了することに伴い、平成 24 年度を初年度とする後期基本計画の策定を行いました。</p> <p>総合計画は、市民の皆さんと行政が、それぞれの役割に応じて主体的にまちづくりを推進していただくための市民共有の指針として位置付けており、今回の策定にあたっては、総合計画審議会への市民委員の登用をはじめ、市民ワークショップの開催、パブリックコメントの募集など、計画素案の段階から市民の皆さんに参画をいただきました。</p> <p>後期基本計画では、まちづくりの喫緊の課題である人口の定住を図るための「若者定住“雇用促進”プロジェクト」、市民の皆さんの安全・安心な暮らしの実現を図るための「防災力・福祉力向上“安全・安心”プロジェクト」、日向市の次代を担う子どもたちを、家庭・地域・行政が一体となって育てていくための「みんなで育む“ひゅうがっ子”プロジェクト」という3つの柱により戦略的なまちづくりを推進することとしました。</p> <p>今後とも、真の「活力ある日向の再生」に向け、市民の皆さんと一丸となって、活力ある地域づくりに取り組んでいきます。</p>	 <p>『新しい日向市総合計画・後期基本計画』</p>	1,455
<p><b>ご当地ゆるキャラ『ひょう助』誕生</b></p> <p>日向市の観光宣伝キャラクターの「ひょう助」が誕生しました。日向ひょうとこ夏祭り実行委員会が、祭りの宣伝のために制作したもので、日向市内のイベントだけでなく、全国各地に出没。大きな目とユニークな顔立ち、持ち前のコミカルさが、爆発的な人気となっており、スケジュールがぎっしりです。</p> <p>皆さん、「ひょう助」を見かけたら、笑顔で応援をお願いします。</p>	 <p>ひょう助</p>	